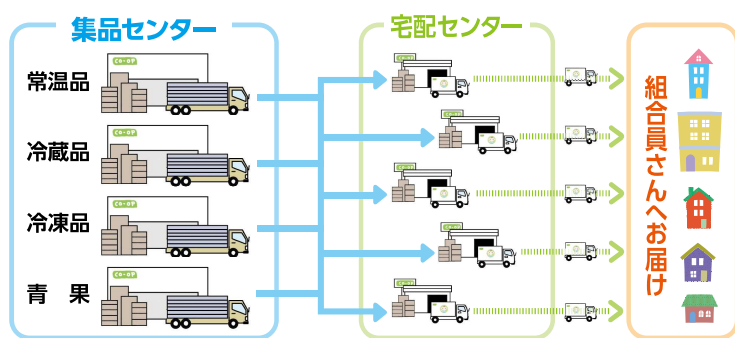


欠品・点数制限の改善に向けた現在の到達点についてご報告します

3月以降、欠品や点数制限でご不便をおかけしているにも関わらず、コープデリ宅配を変わずにご利用いただき、心より感謝申し上げます。あわせて、この間多くの組合員の皆さまから、配達担当や物流で働く職員などへあたたかいメッセージをお寄せいただいていること、重ねてお礼申し上げます。現在、欠品・点数制限の改善にむけ、様々な取り組みを進めています。今回は、集品センターの取り組みについてご報告します。

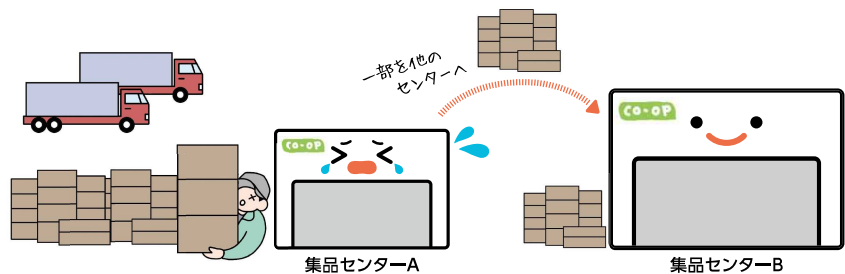
集品センターとは

メーカーや産地から受け取った商品を、通い箱にセットする作業を主に行うコープデリ宅配の物流施設です。コープデリグループ全体で温度帯ごとに常温品7カ所、冷蔵品8カ所、冷凍品6カ所、青果6カ所、計27カ所の集品センターがあります。



集品センター間でセット作業をカバー

例えば、冷蔵品をセットするセンターは8カ所あります。そのうち、注文量に対し、倉庫スペースや作業人員が非常に不足しているセンターから一部の商品セット作業を、規模の大きいセンターに移すことで、全体でのセット点数を改善しています。



人員体制の強化

商品を通い箱に入れる(セットする)には、入荷、補充、セット作業、出荷などに多くの人手が必要です。新たに働く人の採用をすすめ、既存の職員への負担がかかりすぎないようにしています。



通い箱の回収や追加購入

商品を入れるプラスチックや発泡スチロールの通い箱が不足し、セット作業に支障を来すことがありました。そのため、組合員の皆さまから回収にご協力いただいたことと合わせ、急遽、追加で箱を購入するなどにより、機材不足は解消されました。ご協力ありがとうございました。



上記のような取り組みで、集品センターの能力を向上させたことにより、例えば、冷蔵品は4～5月の1カ月間で、セット可能な商品数を約108%に増やすことができました。

しかし、まだ、集品センターでさばき切れないための欠品や点数制限は発生している状況です。引き続き、1点でも多くご注文どおりにお届けできるよう取り組んでまいります。

